

第1回県政インターネットモニターアンケート集計結果

「県産品の販路拡大等」に関する調査

森林クラウド公開システムに関する調査アンケート

アボカドの消費等に関するアンケート

高次脳機能障害に関する認知度調査

※グラフの中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

※各回答項目の割合(%)は、端数処理の関係上(小数第二位を四捨五入)、

合計が100%にならない場合がある。

○「県産品の販路拡大等」に関する調査

静岡県では、県民の皆様が積極的に県産品の購入や県内施設を利用する県民運動「バイ・シズオカ」などを展開するとともに、全国や海外に誇りうる価値や特長を備えた、本県産の農林水産物を「しずおか食セレクション」、新しい加工品を「ふじのくに新商品セレクション」としてブランド化を図っています。また、それら県産品の生産や飲食店でSDGsに貢献する取組を推進しています。

今後の取組の参考にするため、皆様の率直なご意見をお聞かせください。

○森林クラウド公開システムに関する調査アンケート

森林クラウド公開システムに対して、掲載してほしい情報や使用の満足度など、県民の皆様の意見を把握し、今後の公開システムの改良計画を検討する上での参考にさせていただくため、アンケートに御協力ください。

・森林クラウドとは

森林クラウドは、県、市町、林業経営体等が森林情報をクラウド(インターネットにあるサーバー等のこと)上に集約し、共有するシステムのことです。静岡県では令和4年度から運用を開始しており、森林・林業行政における迅速な情報共有や、電子化による事務の効率化を目指しています。

・森林クラウド公開システムとは

森林クラウド公開システム(以下、公開システム)は、森林クラウドをベースとした、県民の皆様がインターネット上で森林情報を閲覧するためのシステムのことで、令和5年12月から稼働しています。

(URL:<https://fcloud.pref.shizuoka.jp/>)

・公開システムの使用目的・想定使用例

公開システムは、森林の状況把握や、森林法に基づく伐採造林届等の各種手続きが必要な森林の概況把握などに使用できます。

想定使用例：自分が所有する山を伐採したいが、伐採や造林に係る届出が必要な森林か対象範囲を確認したい。

○アボカドの消費等に関するアンケート

静岡県では、気候に適した新作物としてアボカドの導入・産地化を検討します。今後の県内産アボカドに関する事業の効果的な推進のため、県民の皆さまの消費状況や意見について調査を実施します。

○高次脳機能障害に関する認知度調査

静岡県では、高次脳機能障害があっても、その方らしく暮らすことができる地域を作るため、相談窓口の設置や啓発活動を行っています。しかし、相談に来られる方のうちおよそ半分の方は、受傷から3年以上時間を要している現状があることから、一層の啓発活動が必要と考えています。

それに伴い、県民がどれくらい高次脳機能障害を知っているか把握することで取組の参考とするため、皆様の率直な御意見をお聞かせください。

・高次脳機能障害とはー

脳は外界から送られてくる様々な刺激をとらえ、言葉や動作に置き換えたり、学習したり、記憶します。脳は、さらに記憶した知識や経験から、判断をしたりもします。また、人間の脳の働きには、感じる(感情)、意志などの情緒機能もあります。こうした人間特有の高度な脳の働きを「高次脳機能」といいます。「高次脳機能障害」とは、事故や病気などで脳が損傷されて、脳の精密な情報処理(高次脳機能)がうまくいかなくなつた状態のことをいいます。

回答者数に係る留意事項(マーケティング課「県産品の販路拡大」に関する調査)

第1回モニター調査の総回答者数は、472人(モニター総数514人中)。

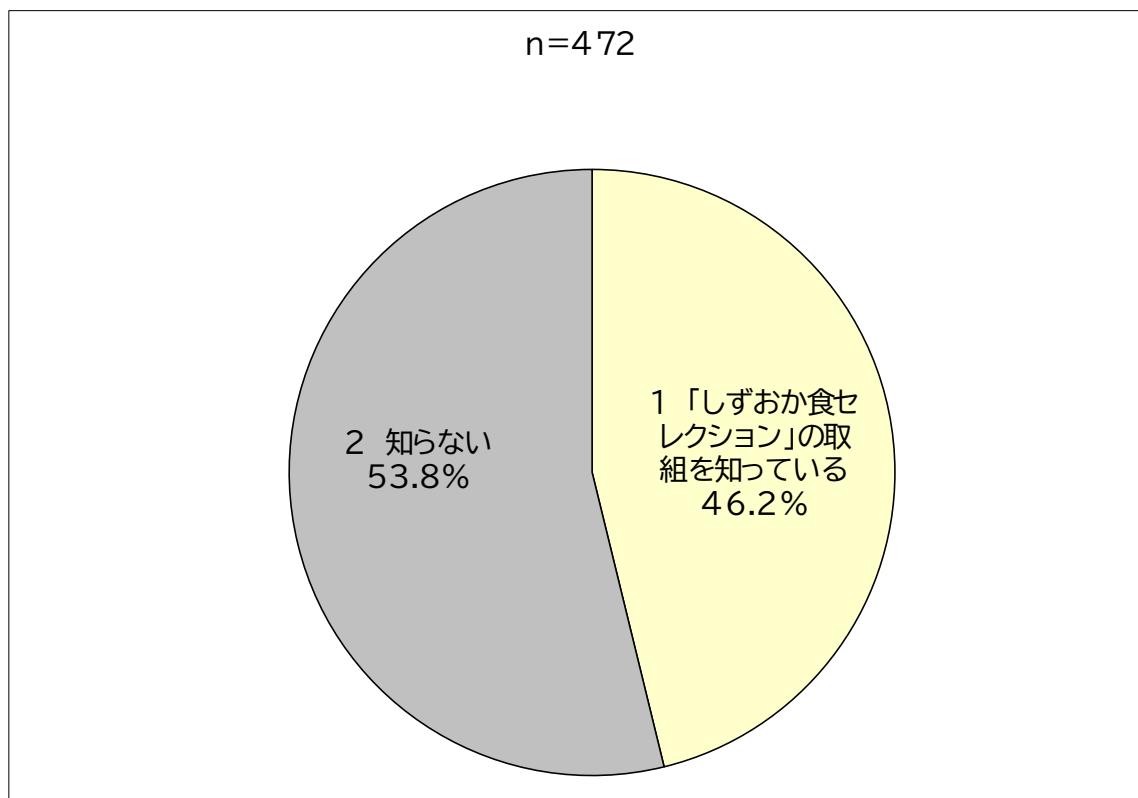
ただし、「県産品の販路拡大」に関する調査において、問6の設問に当初誤りがあったため、問6とこれに関する問7について、再調査を依頼しました。(対象者は、調査開始から誤りを訂正するまでに御回答いただいた226人)。

結果、185人の方からの御回答を得たため、訂正後の正しい設問で御回答いただいた257人と合わせ、430人(重複回答12人を除く)を、今回の問6・問7の回答者として集計しています。

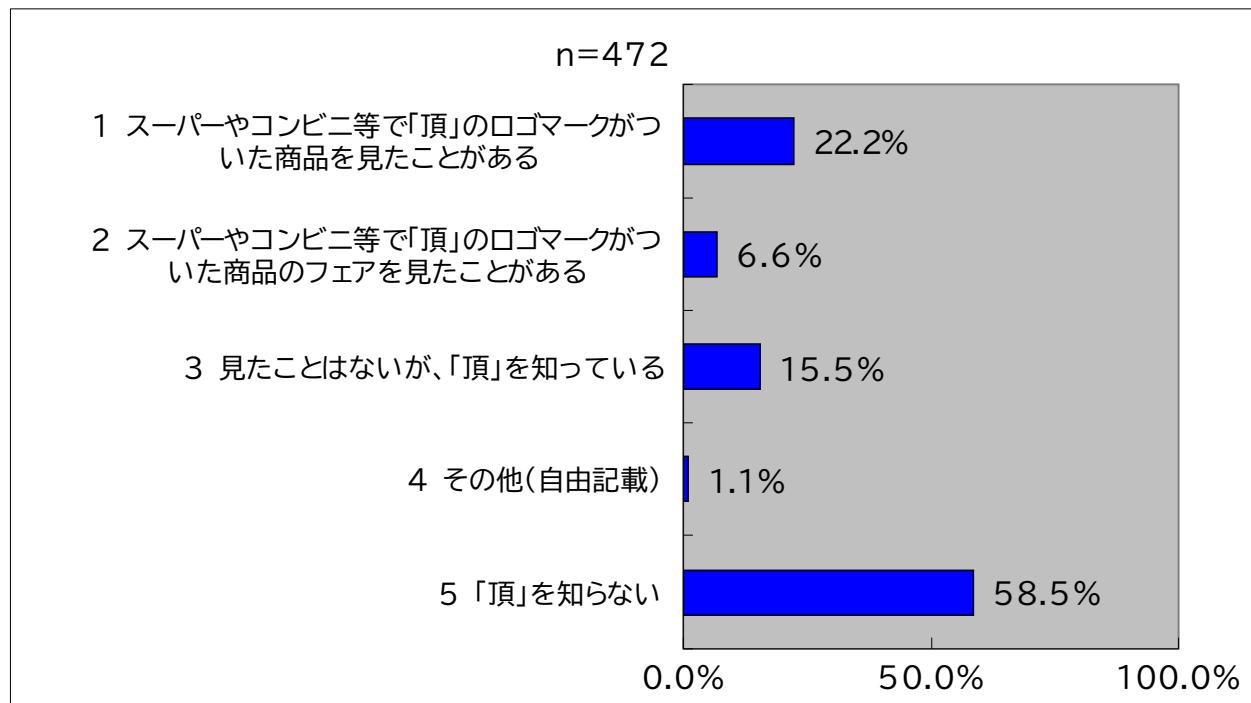
| | | 総回答者数 | | 「県産品の販路拡大等」に関する調査 問6、問7 | |
|----|-----------|-----------------------|-------|-------------------------|-------|
| | | 回答者数：472人 (回答率：91.8%) | | 回答者数：430人 (回答率：83.6%) | |
| | カテゴリー名 | 回答者数 | % | 回答者数 | % |
| 性別 | 男性 | 195 | 41.3% | 171 | 39.8% |
| | 女性 | 275 | 58.3% | 257 | 59.8% |
| | その他 | 2 | 0.4% | 2 | 0.5% |
| 年代 | 10代 | 10 | 2.1% | 9 | 2.1% |
| | 20代 | 39 | 8.3% | 36 | 8.4% |
| | 30代 | 39 | 8.3% | 34 | 7.9% |
| | 40代 | 87 | 18.4% | 81 | 18.8% |
| | 50代 | 126 | 26.7% | 115 | 26.7% |
| | 60代 | 93 | 19.7% | 86 | 20.0% |
| | 70代 | 58 | 12.3% | 52 | 12.1% |
| | 80代 | 20 | 4.2% | 17 | 4.0% |
| | 90代 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 住所 | 賀茂 | 3 | 0.6% | 3 | 0.7% |
| | 東部 | 142 | 30.1% | 129 | 30.0% |
| | 中部 | 175 | 37.1% | 161 | 37.4% |
| | 西部 | 151 | 32.0% | 136 | 31.6% |
| | 県外 | 1 | 0.2% | 1 | 0.2% |
| 職業 | 自営業 | 36 | 7.6% | 31 | 7.2% |
| | 会社員 | 158 | 33.5% | 145 | 33.7% |
| | 公務員 | 13 | 2.8% | 13 | 3.0% |
| | パート・内職従事者 | 89 | 18.9% | 80 | 18.6% |
| | 学生 | 35 | 7.4% | 32 | 7.4% |
| | 無職 | 124 | 26.3% | 112 | 26.0% |
| | その他 | 17 | 3.6% | 17 | 4.0% |

○「県産品の販路拡大等」に関する調査

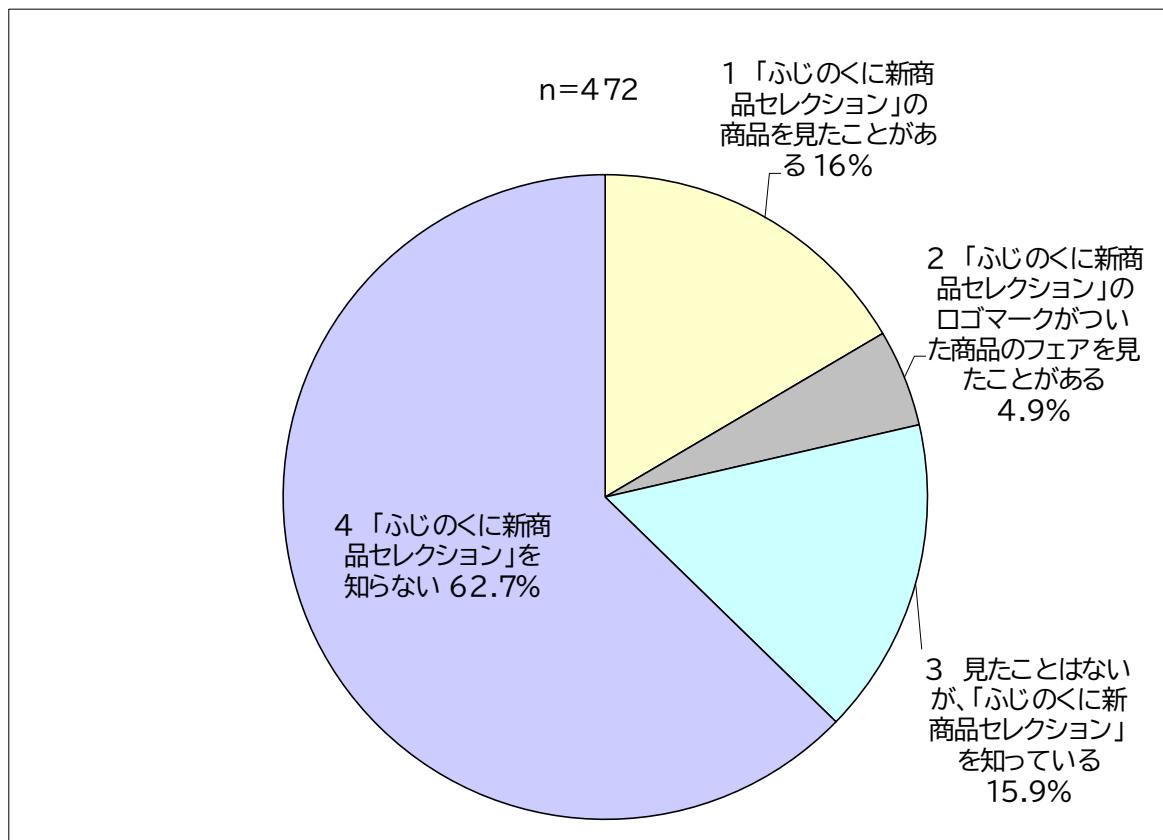
問1 静岡県は、全国や海外に誇れる県産農林水産物を「しづおか食セレクション」として認定し、その魅力を情報発信していますが、この取組を知っていますか。(回答数は1つ)



問2 「しづおか食セレクション」の愛称を「頂(いただき)」と定め、認定商品にロゴマークを添付するなどPRしています。「頂」のロゴマークがついた商品を見たことがありますか。(複数回答可)

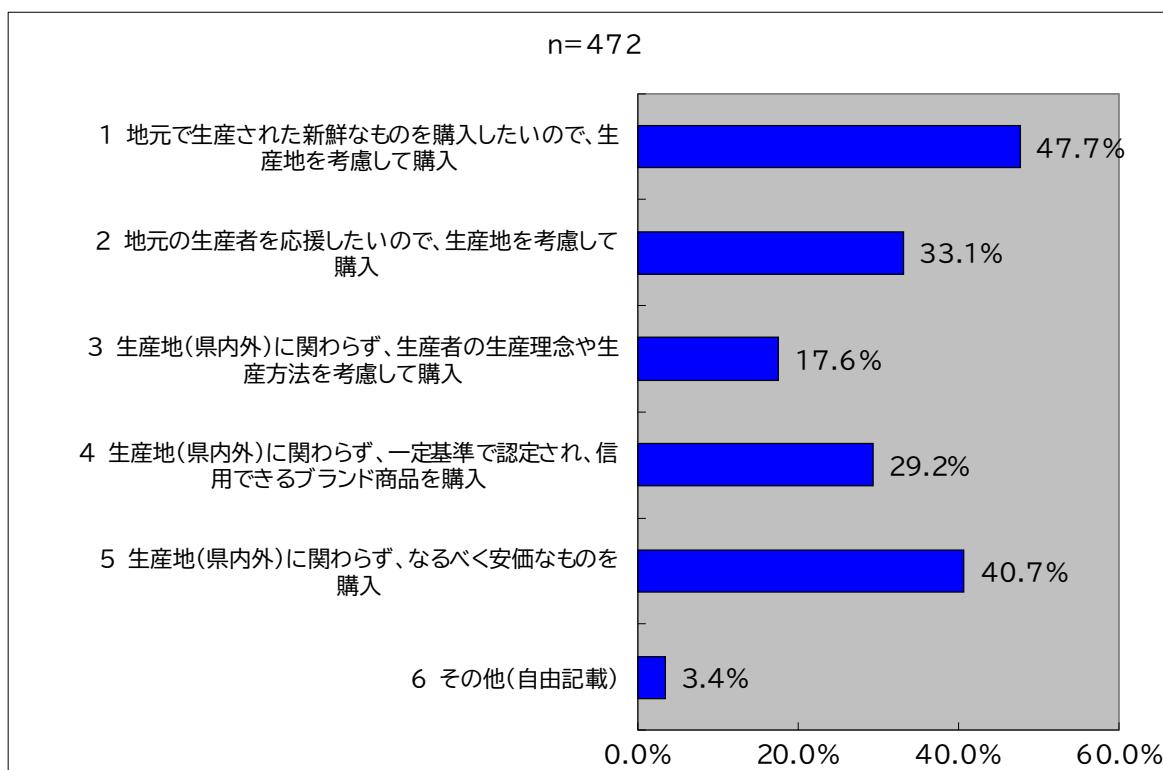


問3 静岡県は、県産農林水産物の魅力を活かした新しい加工品を「ふじのくに新商品セレクション」として表彰し、その魅力を情報発信していますが、この取組を知っていますか。(回答数は1つ)

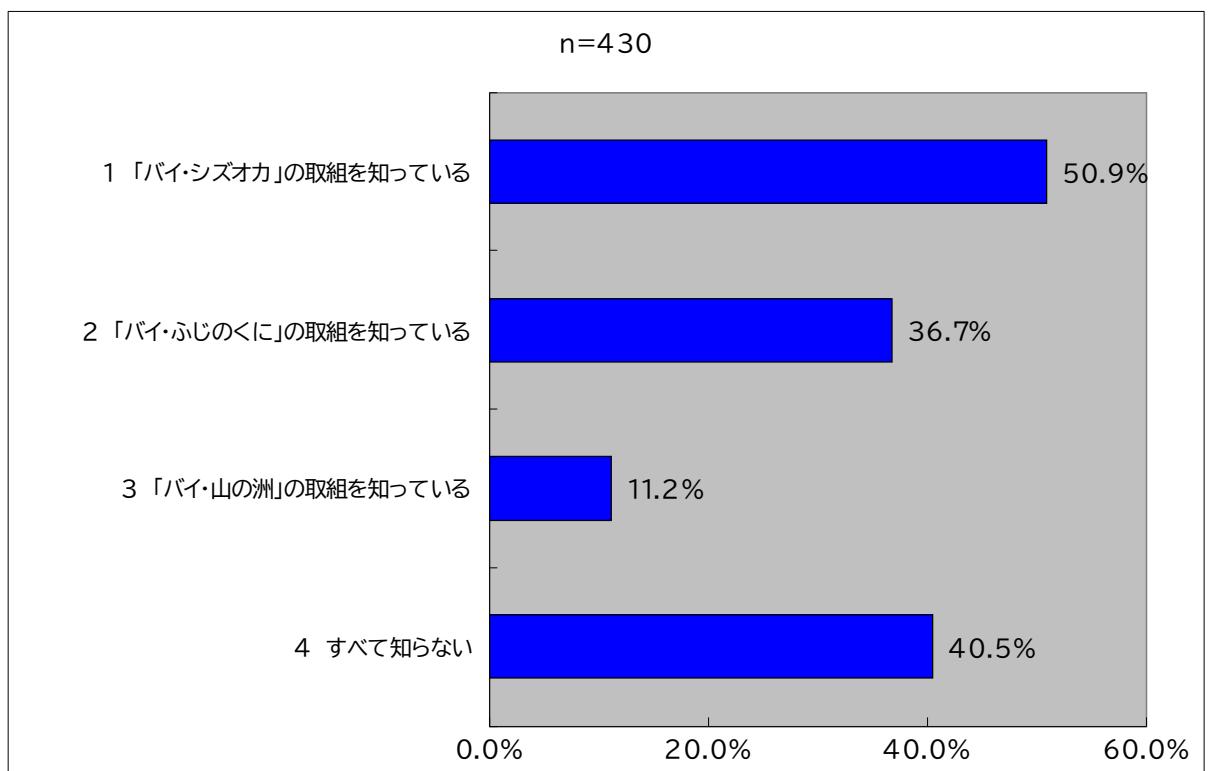


問4 「ふじのくに新商品セレクション」、「しづおか食セレクション」について、ご意見等がありましたら、自由にご記入ください。(500文字以内)

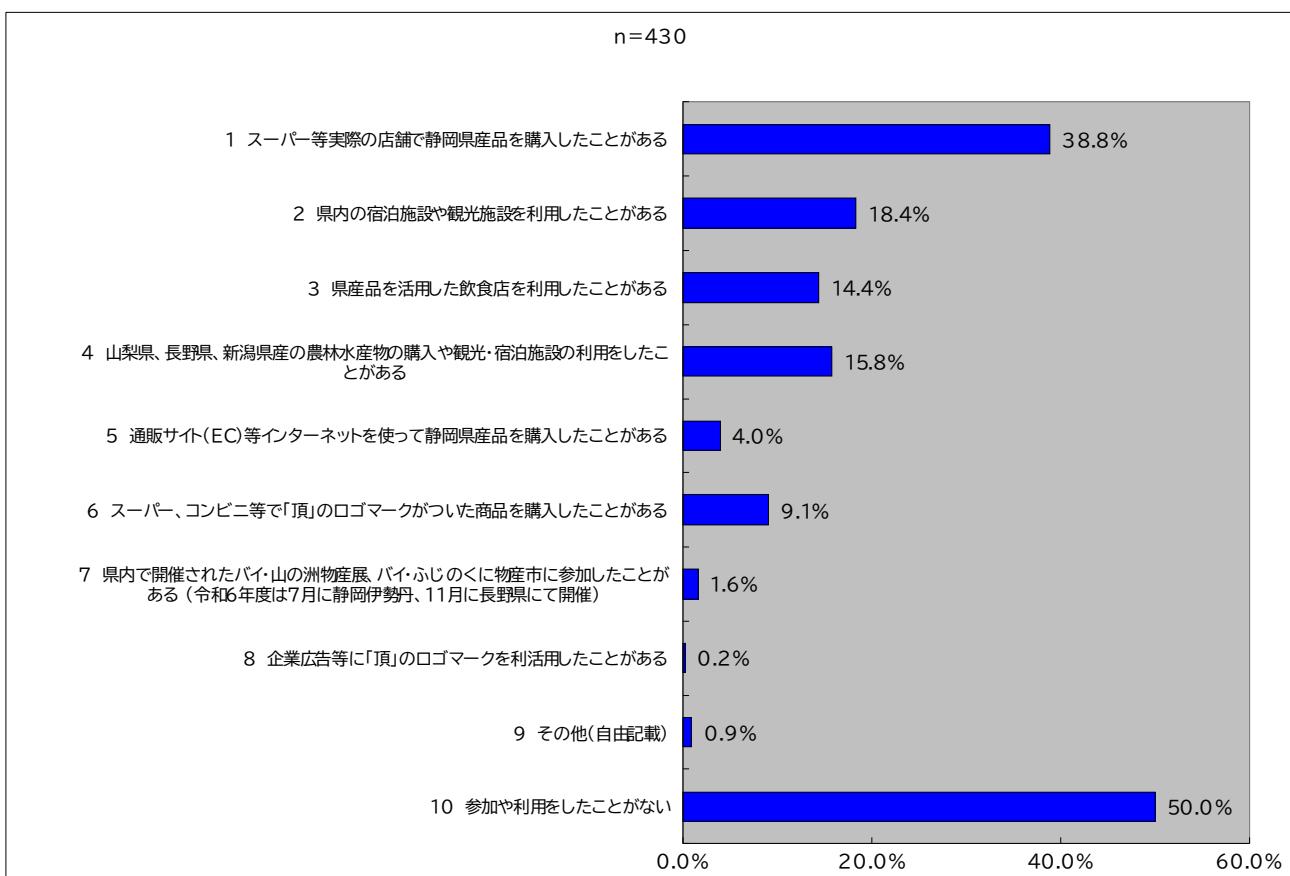
問5 あなたが、スーパー等の実際の店舗で農林水産物を購入する際は、何を考慮して購入していますか。(複数回答可)



問6 県民の皆様に県産品(県産農林水産物やその加工品、地場産品など)の購入や県内施設の利用を呼び掛ける県民運動「バイ・シズオカ」、山梨県と連携した「バイ・ふじのくに」、長野県、新潟県まで拡大した「バイ・山(やま)の洲(くに)」の取組のことを知っていますか。(複数回答可)

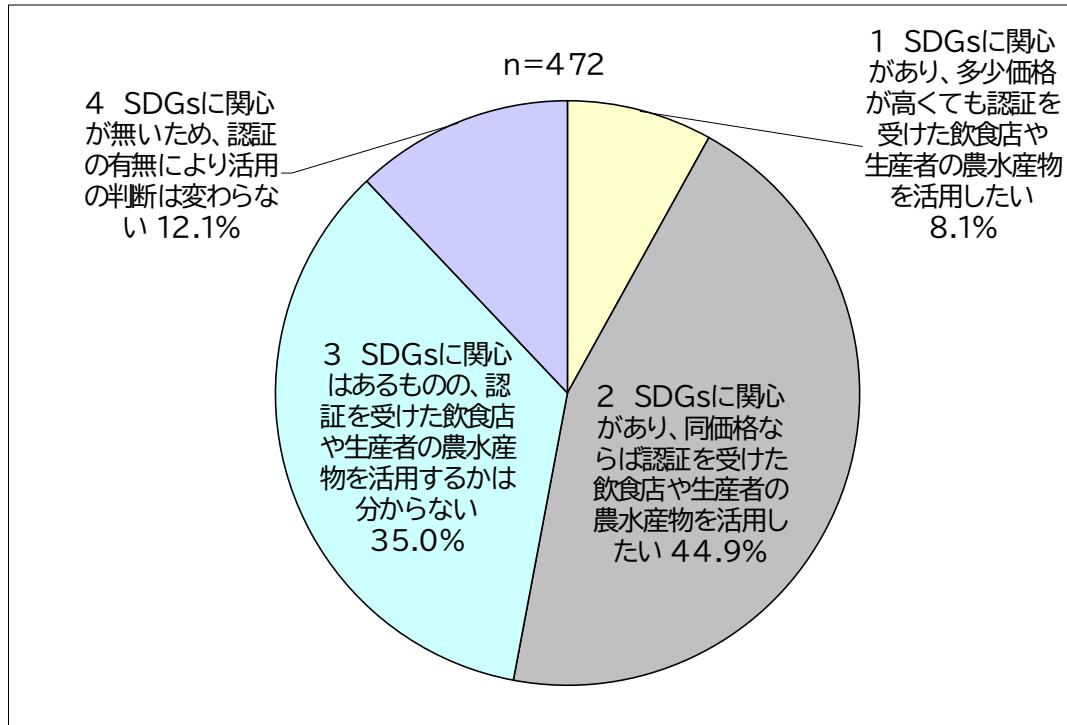


問7 あなたは、「バイ・シズオカ」、「バイ・ふじのくに」、「バイ・山(やま)の洲(くに)」に関する以下の取組に、参加や利用をしたことがありますか。(複数回答可)



問8 静岡県では、SDGs※達成に向けた取組を実施する飲食店や農水産物の生産者を認証する制度を創設しました。あなたは SDGsに関心はありますか。また、SDGs の趣旨に賛同する飲食店や生産者が作る農水産物を積極的に活用したいと思いますか。(回答数は1つ)

※SDGsとは Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称で、先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の 3 つの側面のバランスがとれた社会を目指す世界共通の目標として、17 のゴールとその課題ごとに設定された 169 のターゲット(達成基準)から構成されます(農水省 HP から抜粋)。



担当課 静岡県経済産業部産業革新局マーケティング課

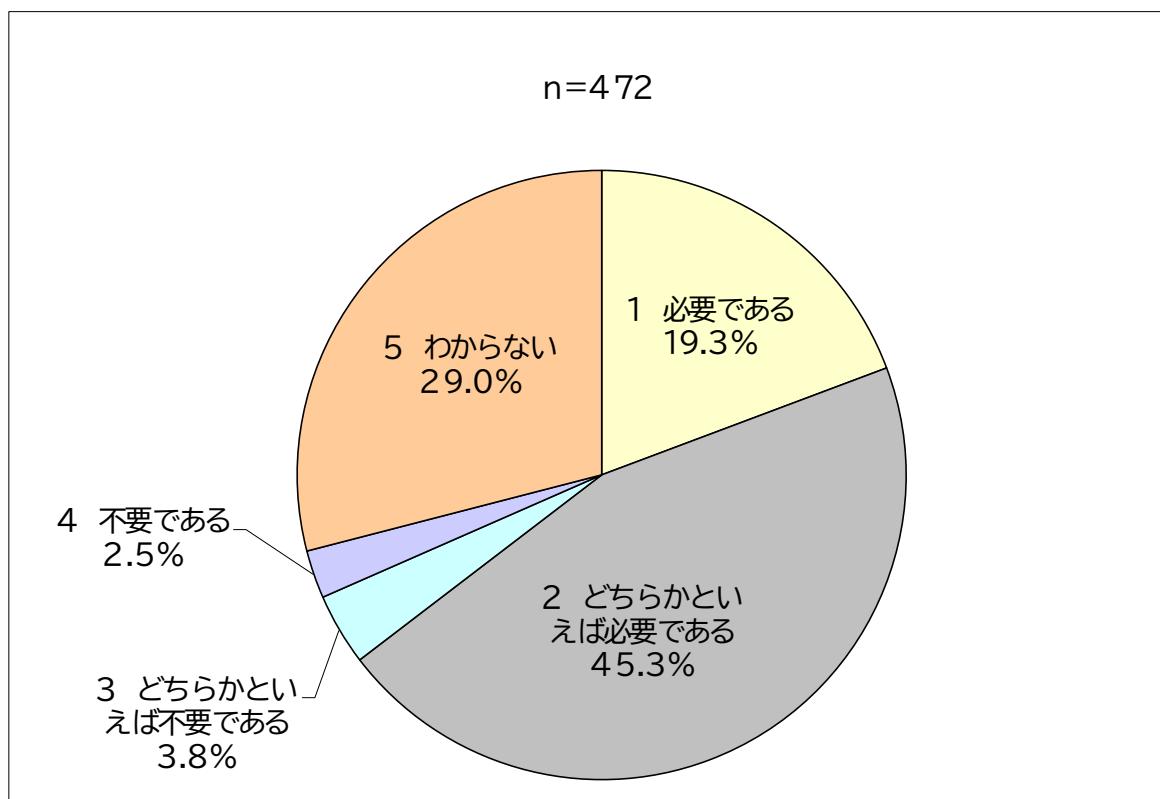
TEL 054-221-3713

FAX 054-221-2698

メール marke@pref.shizuoka.lg.jp

○森林クラウド公開システムに関する調査アンケート

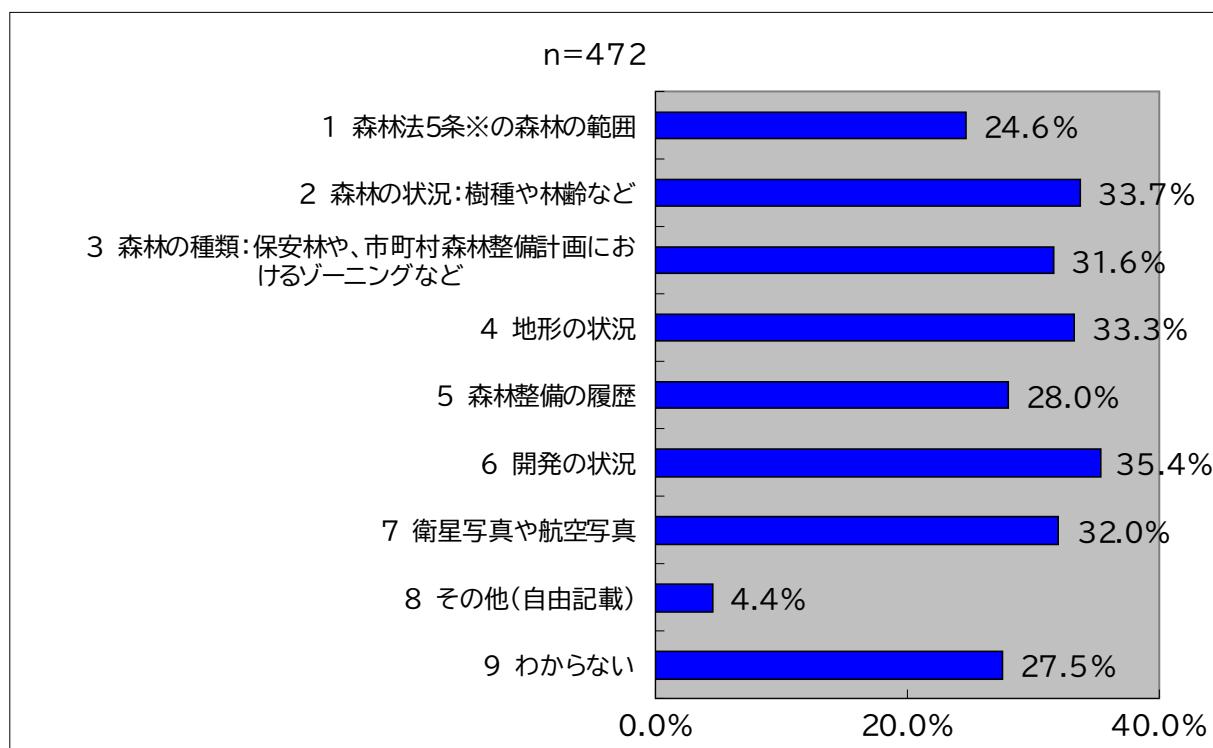
問1 公開システムのような、森林情報を閲覧するインターネットサービスの必要性について回答してください。(回答数は1つ)



問1-2 問1で選択肢3又は4を選択された方に伺います。その理由は何ですか。(500字以内)

問2 公開システムで閲覧したい情報を教えてください。(複数回答可)

※森林法5条の森林・・・都道府県知事が5年ごとに策定する地域森林計画と呼ばれる計画の対象森林のことです。森林の伐採や開発等に係る各種申請の対象となる森林を指します。



問3 公開システムの使用満足度はどれくらいですか。0～100%（小数点以下は付けない）で答えてください。（半角数字3文字以内）

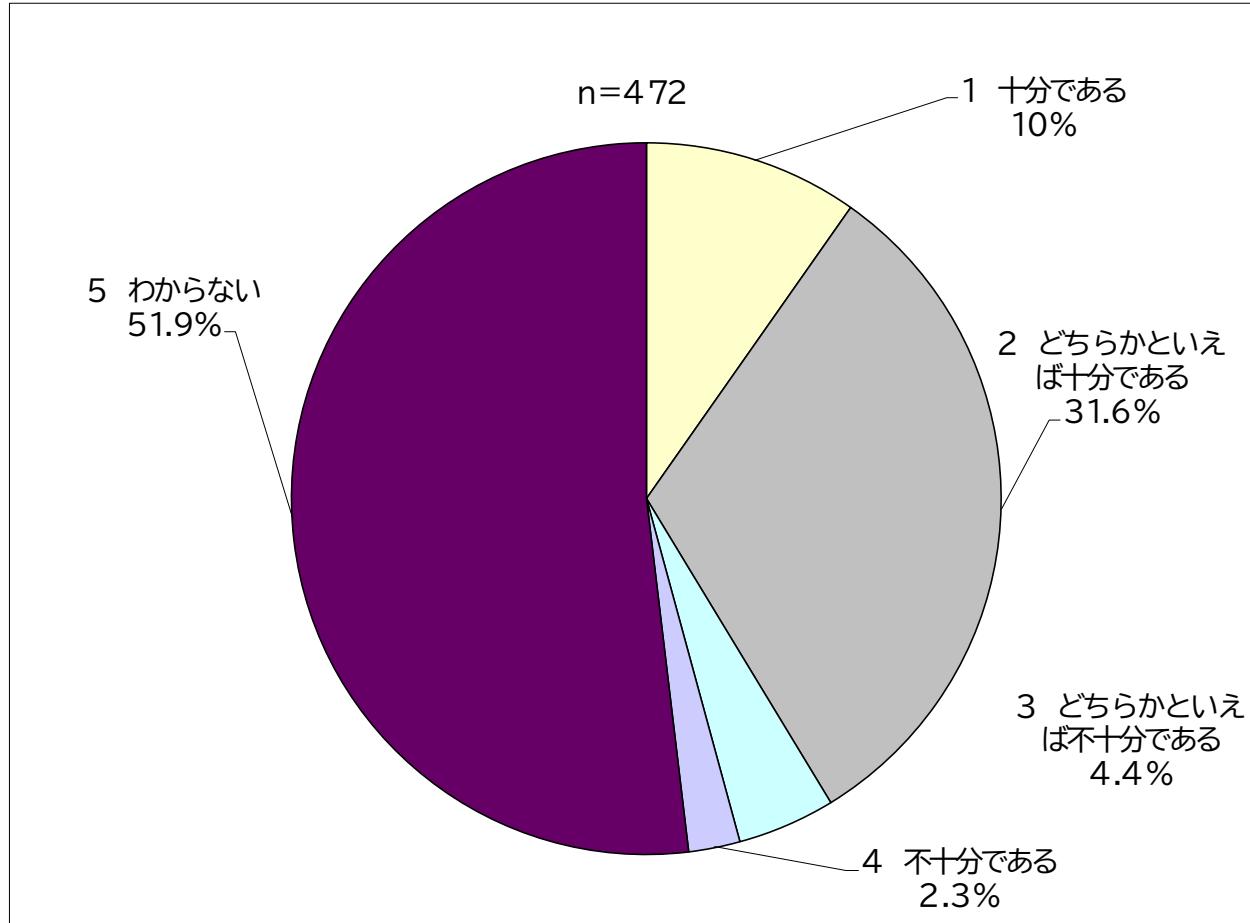
森林クラウド公開システム URL <https://fcloud.pref.shizuoka.jp/>

問4 問3の使用満足度を上げるために、公開システムにどのような機能改良が必要ですか。具体的に記載してください。（500字以内）

例)・森林簿を表示させる方法が分かりにくいのでわかりやすくしてほしい
・各森林情報が何に使えるかよくわからないので簡単に説明がほしい など

問5 静岡県でオープンデータ（※）化している森林情報の種類や精度について、どのようにお考えですか（回答数は1つ）

※オープンデータとは、すべての人が自由に利用できるよう公開しているデータのことです。静岡県では、個人情報を除く森林情報を、先に示した公開システムや、ふじのくにオープンデータカタログ（静岡県が保有するデジタルデータを自由に利活用できるオープンデータサイト：<https://opendata.pref.shizuoka.jp/>）などで公開しています。



問5-2 問5で選択肢3又は4を選択された方に伺います。その理由は何ですか。（500字以内）

問6 公開システムについて、御意見、御感想がありましたら、御自由にお書きください。（500字以内）

担当課 経済産業部森林・林業局森林計画課

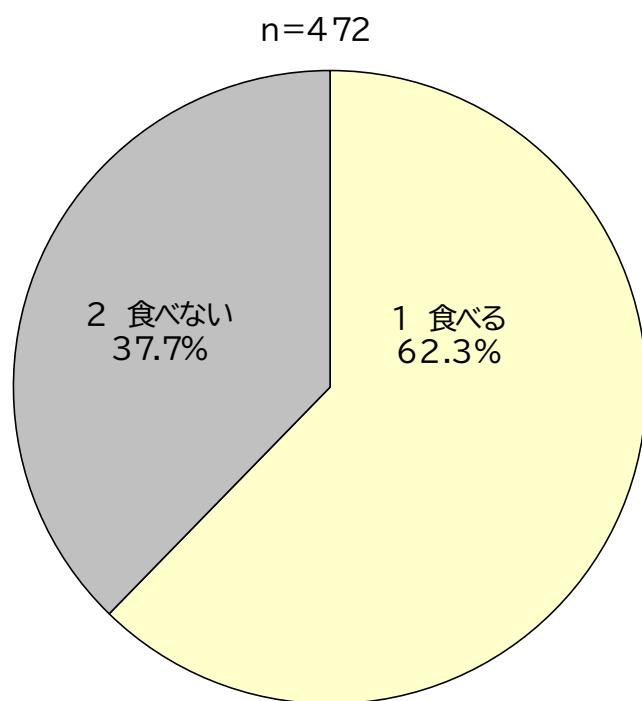
電話 054-221-2613

FAX 054-221-2829

メール shinrinkeikaku@pref.shizuoka.lg.jp

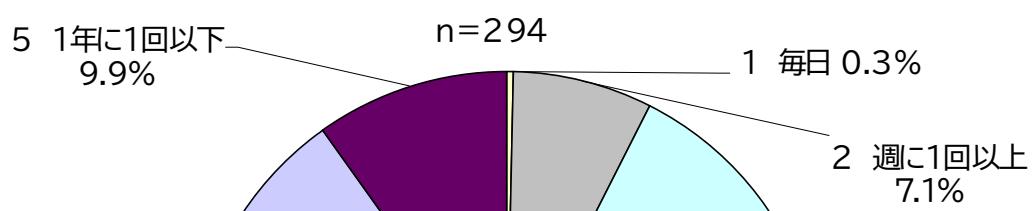
○アボカドの消費等に関するアンケート

問1 あなたはアボカドを食べますか。(回答数は1つ)

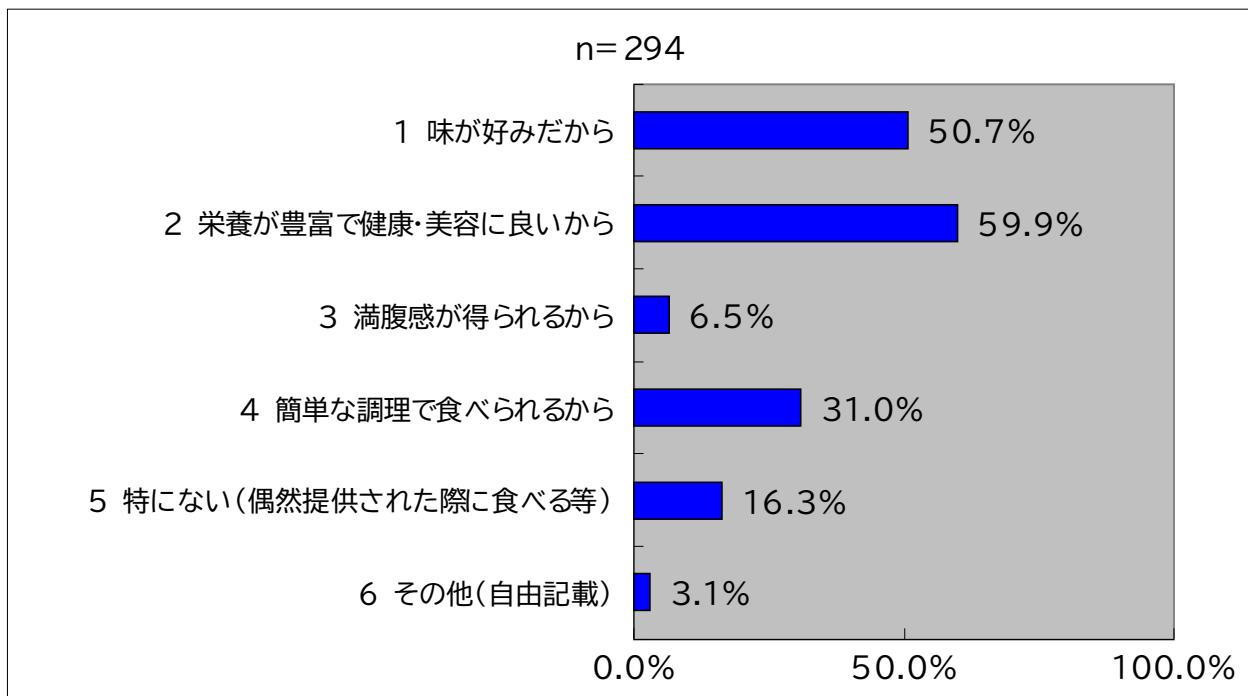


問1-2 問1で選択肢1を選択された方に伺います。

アボカドをどれくらいの頻度で食べますか。(回答数は1つ)

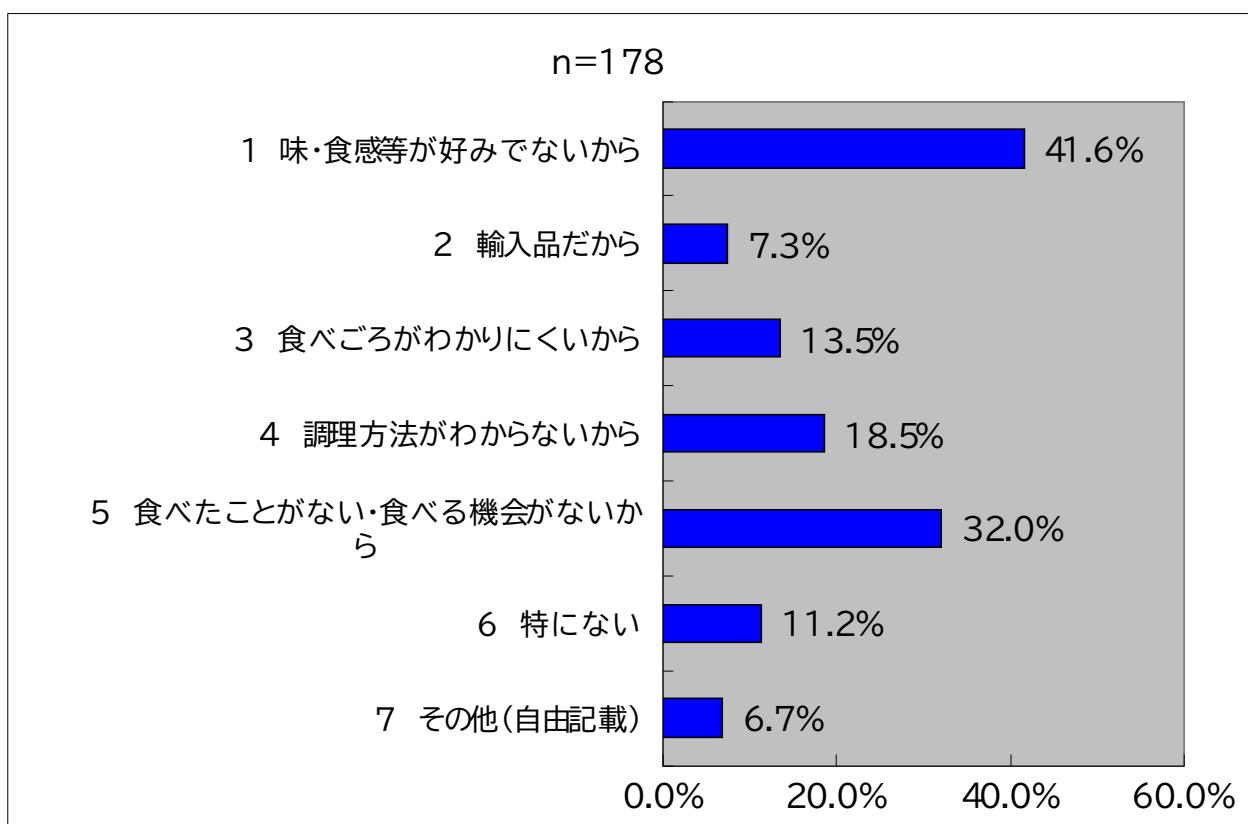


問1-3 問1で選択肢1を選択された方に伺います。
アボカドを食べる理由を教えてください。(複数回答可)



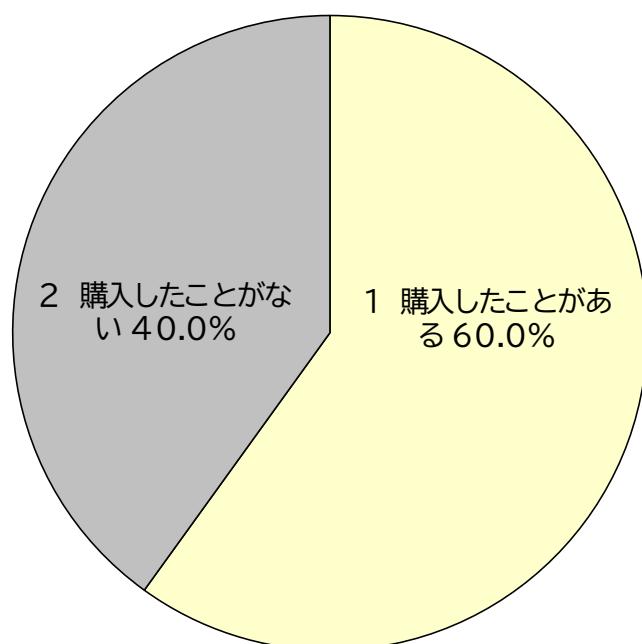
問1-4 問1で選択肢1を食べるを選択された方に伺います。
どのような調理・加工方法が好きですか。(500字以内)

問1-5 問1で選択肢2を選択された方に伺います。
アボカドを食べない理由を教えてください。(複数回答可)



問2 あなたは(スーパー等で)アボカドを購入したことがありますか。(回答数は1つ)

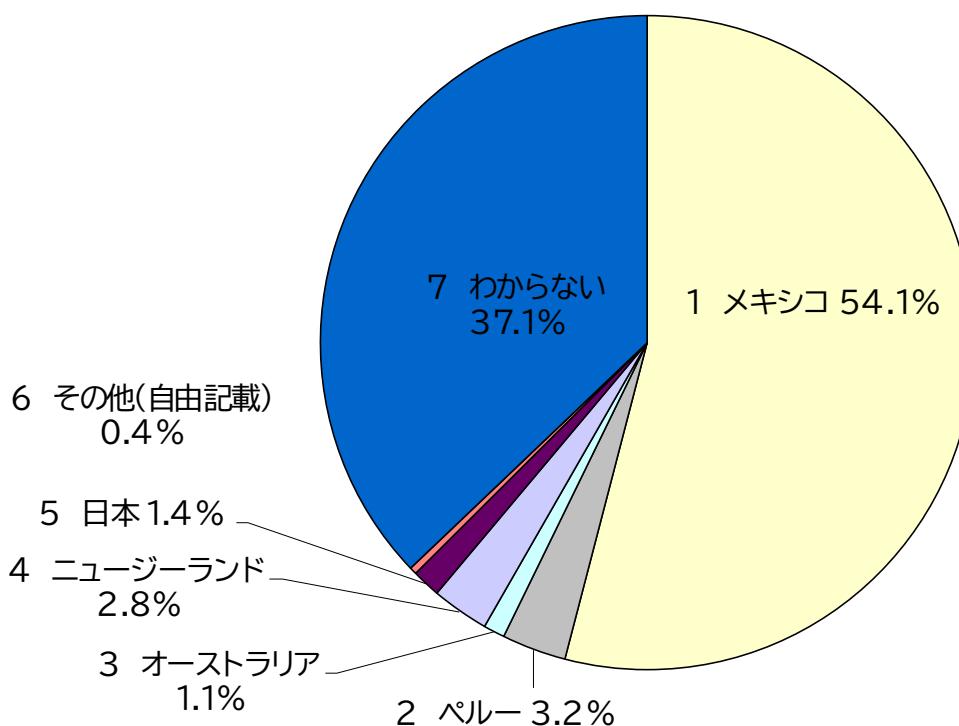
n=472



問2-2 問2で選択肢1を選択された方に伺います。

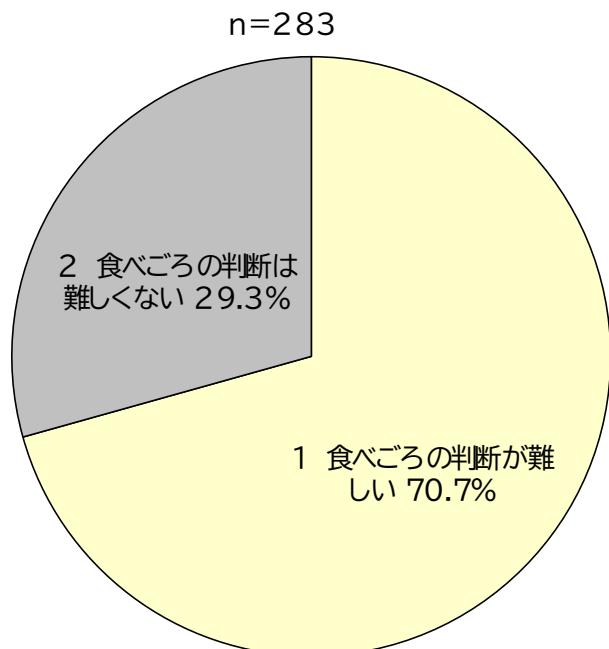
購入したアボカドの産地はどこでしたか。複数回購入したことがある方は、購入回数が多い産地を選択してください。(回答数は1つ)

n=283

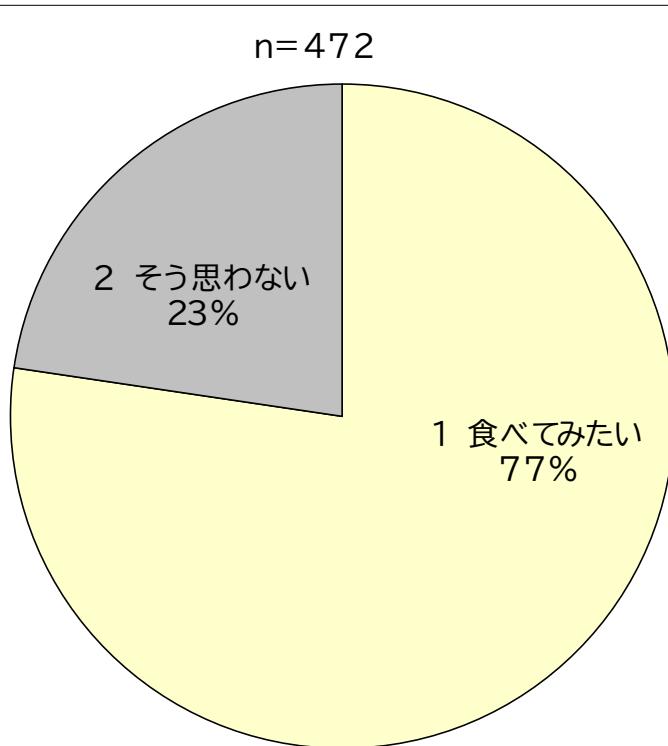


問2-3 問2で選択肢1を選択された方に伺います。

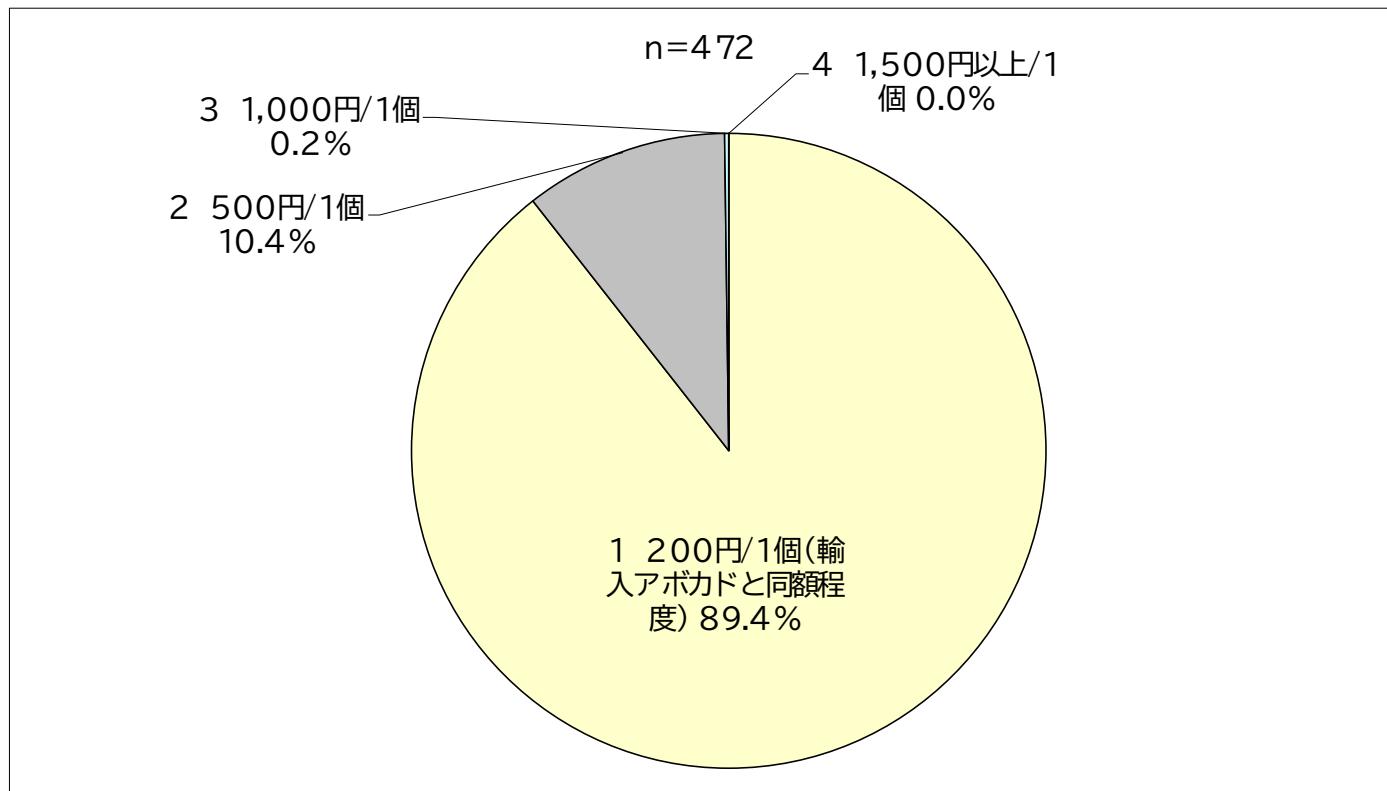
購入したアボカドを食べる際、その食べごろを判断することについてどう感じますか。(回答数は1つ)



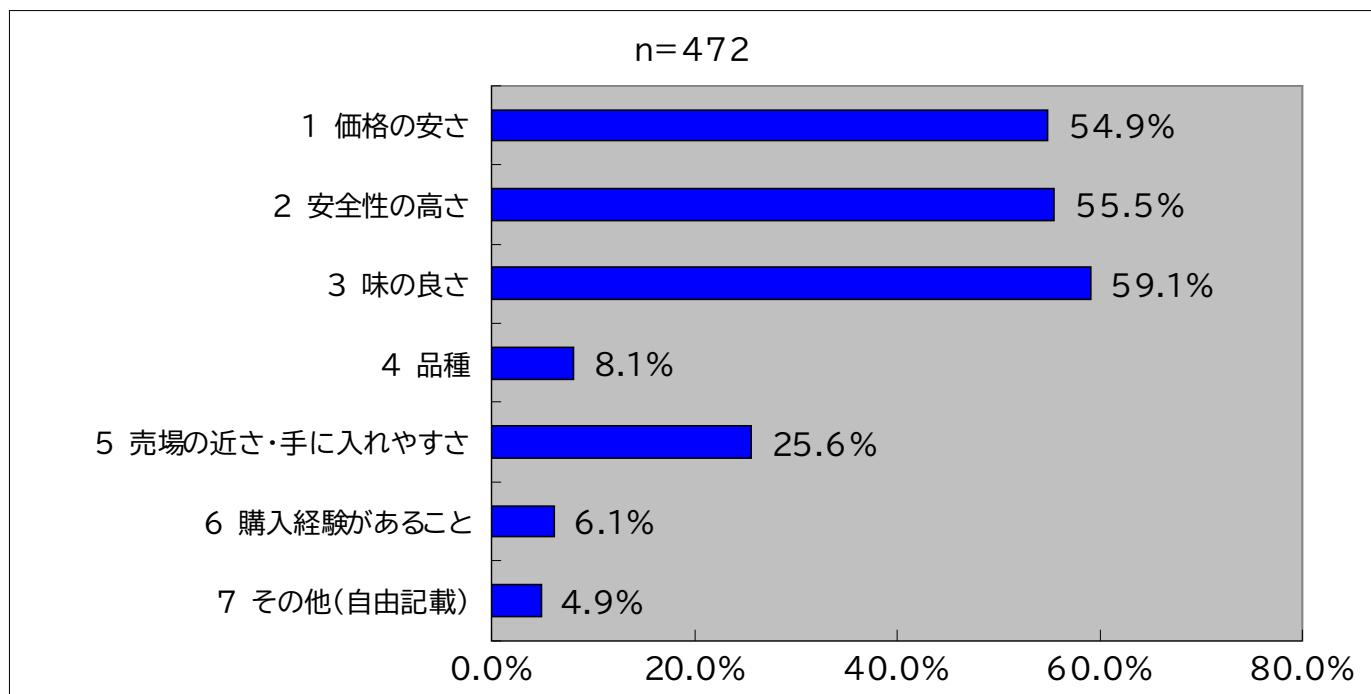
問3 静岡県内で生産されたアボカドについて、食べてみたいと思いますか。(回答数は1つ)



問4 静岡県内で生産されたアボカドについて、1個あたり何円程度であれば購入したいと思いますか。
(回答数は1つ)



問5 あなたが輸入品・国内産のどちらかのアボカドを購入するとき、その選択の理由として当てはまるものを教えてください。(複数回答可)



担当課 静岡県経済産業部農業局農業戦略課

TEL 054-221-3611

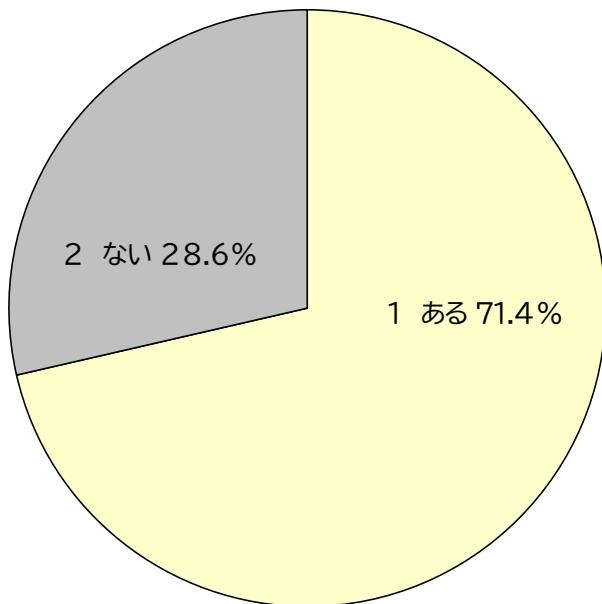
FAX 054-221-2839

メール nougyousen@pref.shizuoka.lg.jp

○高次脳機能障害に関する認知度調査

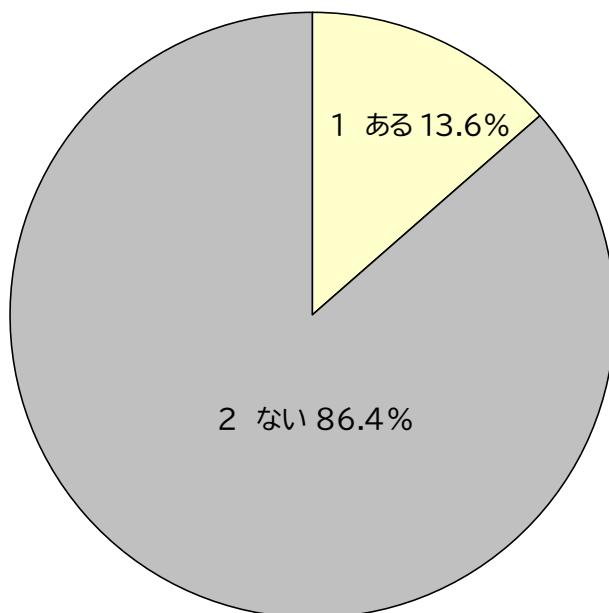
問1 「高次脳機能障害」という言葉を聞いたことがありますか。(回答数は1つ)

n=472



問2 「クレプトマニア」という言葉を聞いたことがありますか。(回答数は1つ)

n=472

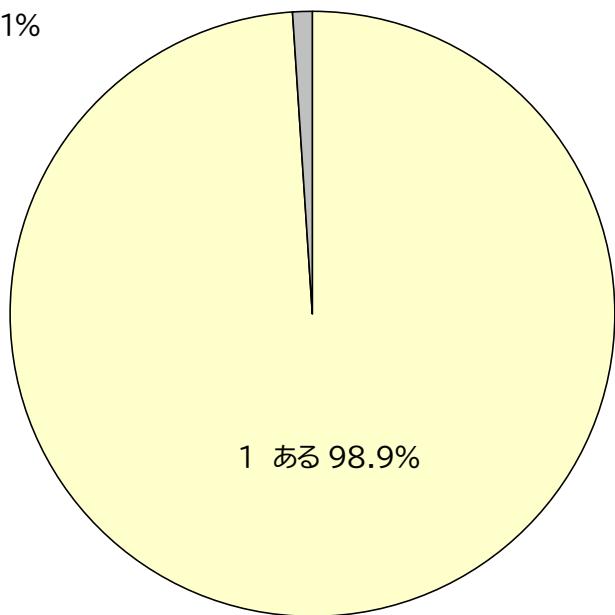


問3 「発達障害」という言葉を聞いたことがありますか。(回答数は1つ)

n=472

2 ない 1.1%

1 ある 98.9%

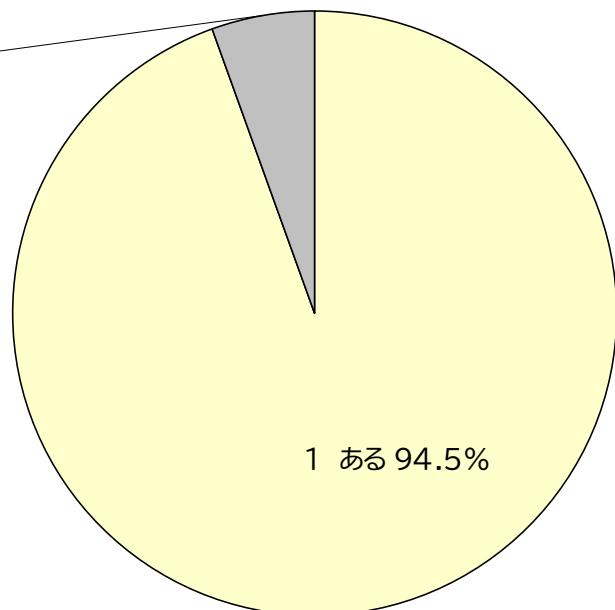


問4 「統合失調症」という言葉を聞いたことがありますか。(回答数は1つ)

n=472

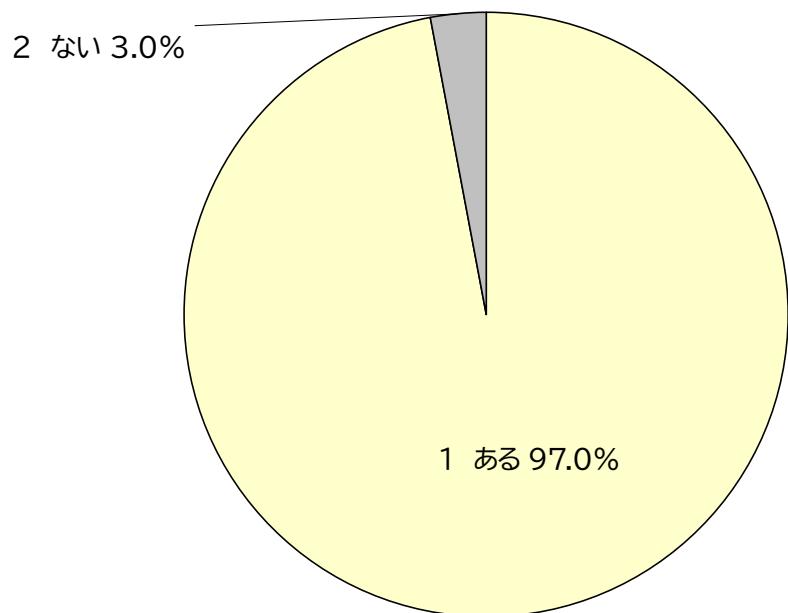
2 ない 5.5%

1 ある 94.5%



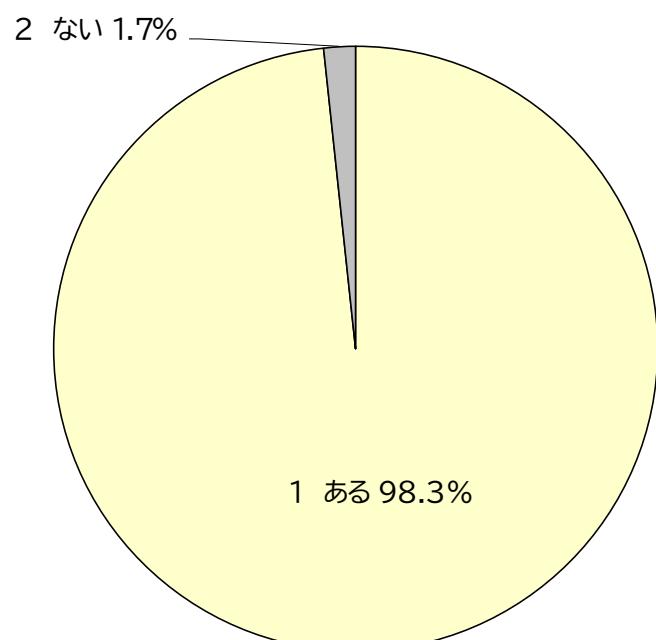
問5 「ゲーム障害・ネット依存」という言葉を聞いたことがありますか。(回答数は1つ)

n=472



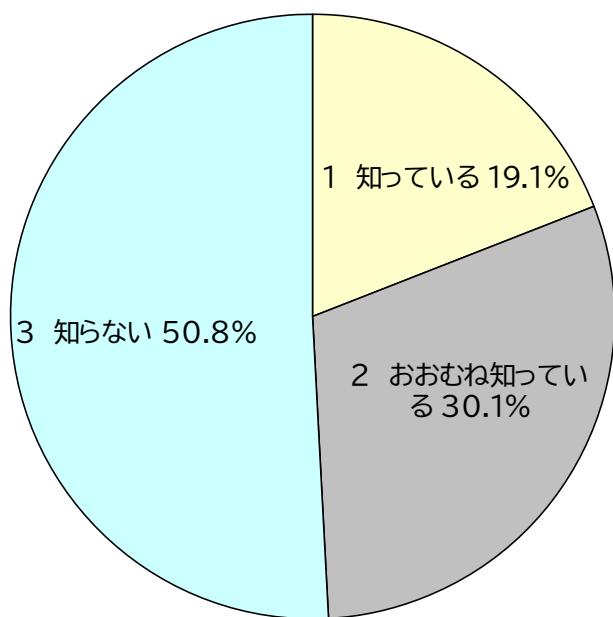
問6 「摂食障害」という言葉を聞いたことがありますか。(回答数は1つ)

n=472



問7 「高次脳機能障害」の主な原因を知っていますか。(回答数は1つ)

n=472



問8 下記のような高次脳機能障害の主な症状は知っていますか。(回答数は1つ)

—高次脳機能障害の主な症状—

●注意障害

ぼんやりしていて、ミスが多い。いくつかのことを同時にしようとすると混乱する。

●記憶障害

物の置き場所を忘れる。新しいできごとを覚えていられなくなる。そのために、何度も同じことを繰り返し質問したりする。

●遂行機能障害

自分で計画を立ててものごとを実行することができない。人に指示してもらわないと何もできなかったり、行き当たりばったりの行動をする。

●社会的行動障害

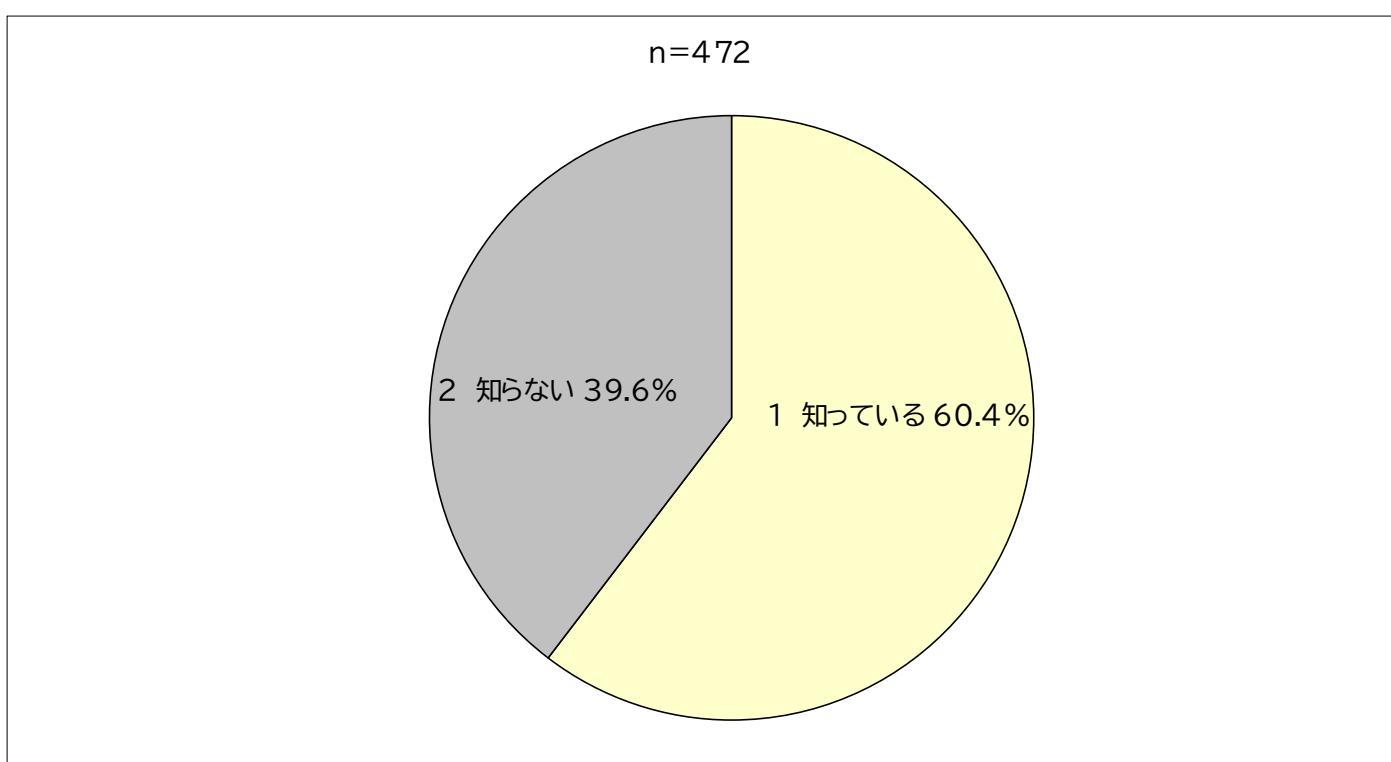
感情や欲求のコントロールができなくなる、相手の立場や気持を思いやれなくなる、一つの物事に固執する、意欲がなくなる 等。

●病識欠落

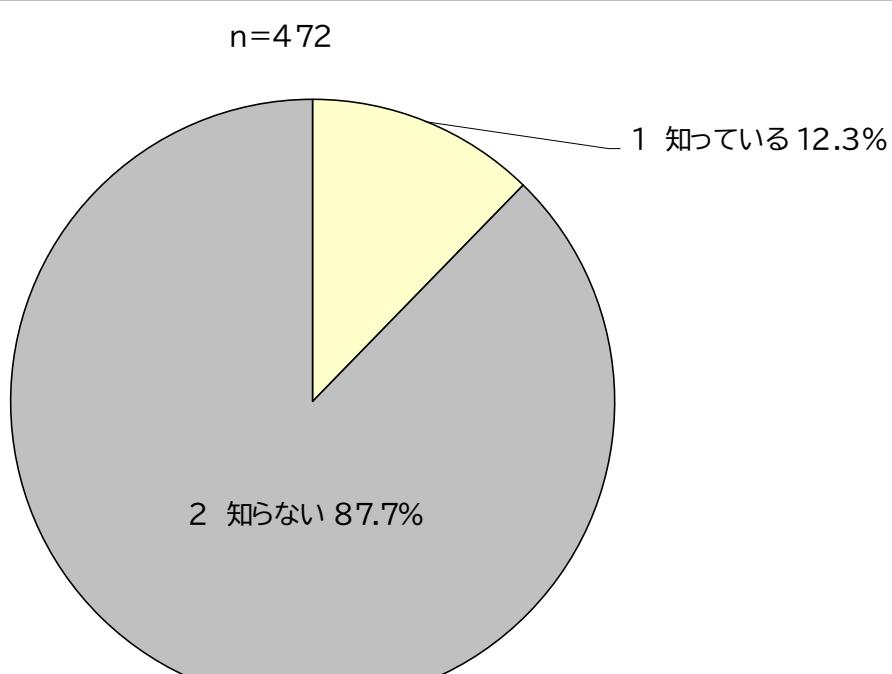
自分に障害があることを認識できず、障害がないかのようにふるまつたり、言ったりする。

●その他

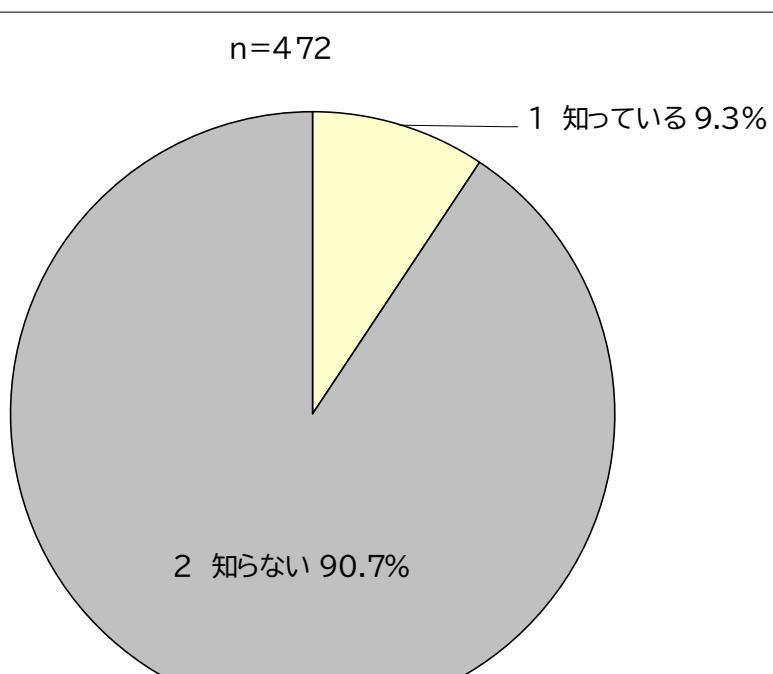
失語、失行(麻痺はないのに、道具がうまく使えない等)、失認(目は見えるのに、物や形や色の理解ができない。半空間無視等)の症状や人格の変化が生じたりします。



問9 お住まいの地域を担当する高次脳機能障害支援拠点機関(※)を知っていますか。(回答数は1つ)
※高次脳機能障害に関する相談支援や関係機関との連絡調整を行う機関。県内には、おおむね保健所設置圏域ごとに1カ所ずつ、支援拠点機関を設置しています。

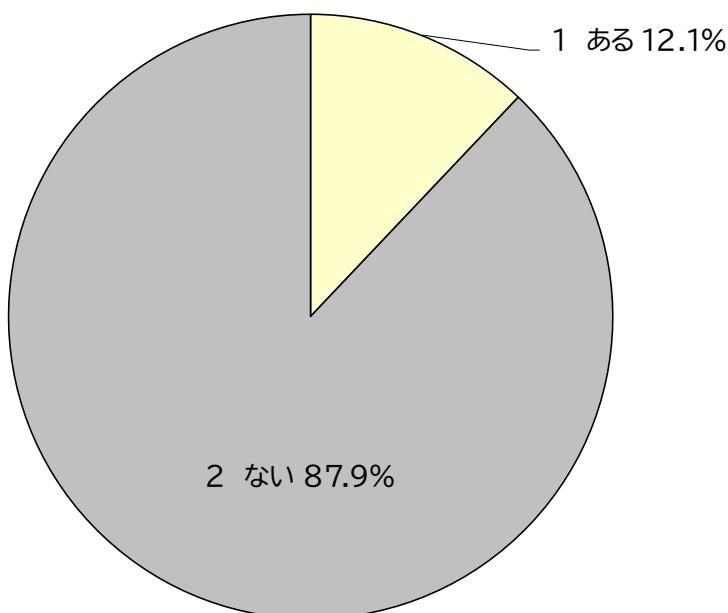


問10 県が高次脳機能障害医療等総合相談会(リハビリ科等の医師による相談会)を行っている事を知っていますか。(回答数は1つ)



問11 県が作成したポスターを見たことはありますか。(回答数は1つ)

n=472



問12 次のような状況の場合、あなたはどこに相談しますか。?(回答数は3つまで)

○家族が脳出血により入院。病状は手術をする程でもなく、数日経過観察の後、退院。主治医からは特に後遺症の指摘もなく、数回の外来受診の後、治療は終了となった。

退院後、入院前に勤めていた会社に復職したが、忘れっぽさが目立ち、何をするにしても注意力が散漫で同じ失敗を繰り返した。そのため、上司から頻繁に叱責を受け、次第に本人は仕事に行けなくなってしまった。入院先の医師に相談したが、やれることはないとと言われてしまった。

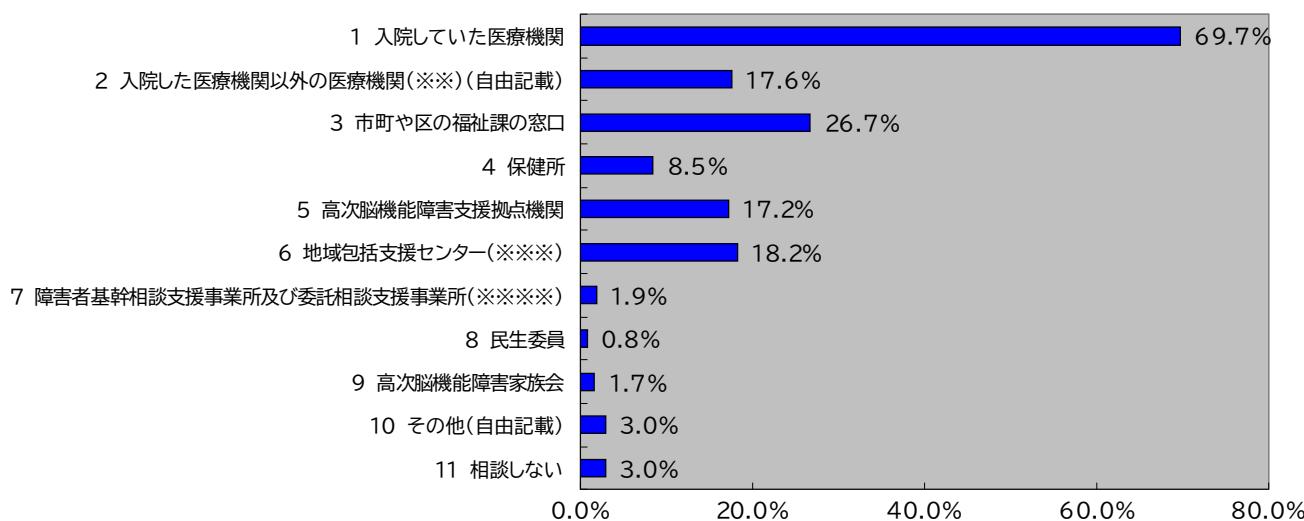
なお、この時点で高次脳機能障害と診断はされていない。

※※2を選択する場合は、どの診療科にかかろうと思うかを記載してください

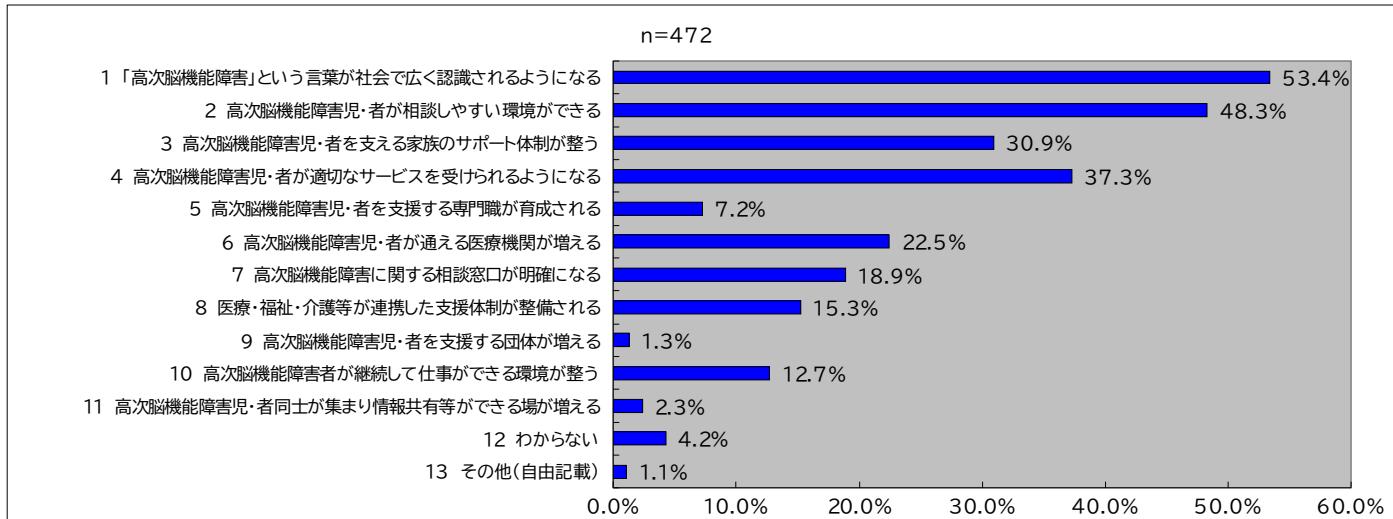
※※※主に高齢者の生活面における一般的な相談窓口

※※※※障害者(疑い含む)の生活面における一般的な相談窓口

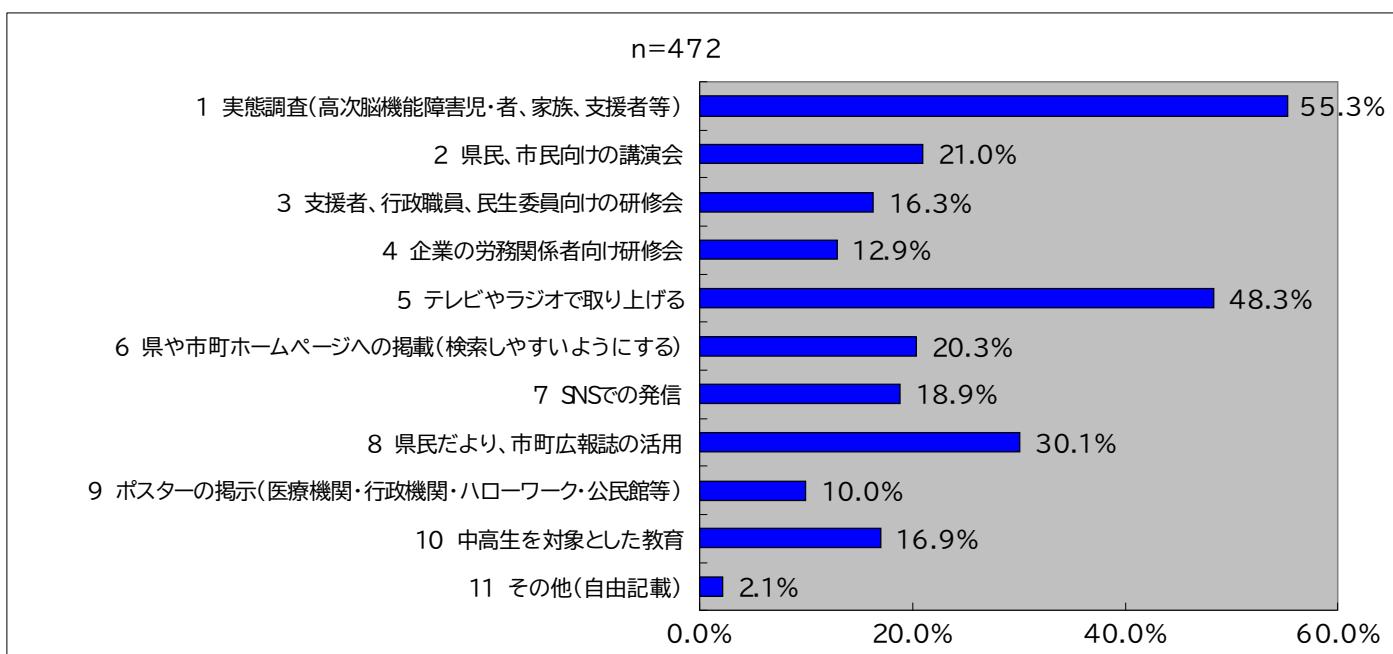
n=472



問13 高次脳機能障害児・者の支援に関して、どのようなことが必要だと思いますか。(回答数は3つまで)



問14 高次脳機能障害の認知度を高めるために、どのような取組が必要と思われますか。(回答数は3つまで)



担当課 静岡県健康福祉部障害者支援局障害福祉課

TEL 054-221-2920

FAX 054-221-3267

メール seis in@pref.shizuoka.lg.jp